

「安全のために確認したのに 長期日勤そして配転された」

国土交通省 政党 議員要請行動で訴える！

8月3日、既報の通り国土交通省・厚生労働省・政党・議員への要請行動を行いました。「トイレのノート」が廃止されるなど目に見える成果を確認できます。

ところで、安全第一の企業風土とは絶対に言えないJR東海の実態を具体的に明らかにし、改善の指導を求めてきました。一例として、昨年4月16日に関西線亀山駅構内の入換信号機の異常現示に端を発した不当配転について訴えました。これはわが組合員である運転士が異常現示を認め、駅側と確認したため発車が遅れたのです。これを会社は、「本人の信号機の見誤り」と決めつけ日勤勤務に降ろし、1ヶ月半後に事業管理所（駅構内うどん店）に配転させたのです。しかも、入れ換え信号機の記録データを示すように再三要求したにもかかわらず、拒否しているのが会社です。こんな不当なことは許されません。あのJR西日本でも、5月に発生した尼崎駅での遅れも運転士の安全確認のためとして一旦は日勤教育に指定したけれども撤回したのです。JR東海が安全第一なら、たとえ過去のことであったとしても検証すべきではないか！そして組合員を運転士に復帰させよ！

会社は記録データを示せ！

「JR東海に問い合わせ」
「国交省に問い合わせ」
「公明党」